

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成 29 年 5 月 20 日（土） 15 時 00 分～16 時 30 分

2. 開催場所：キャンパスプラザ京都 6 階第一講習室

3. 関係団体等：日本科学史学会（共催）、京都市教育委員会（後援）

4. 役割

司会：小長谷 大介さん（龍谷大学経営学部教授、日本科学史学会普及委員）

挨拶：兵藤 友博さん（立命館大学経営学部教授、日本学術会議会員）

講師：伊藤 和行さん（京都大学大学院文学研究科教授）

5. 概要：

ガリレオ・ガリレイは近代科学の創始者として知られる。彼の落下法則の発見や望遠鏡による天体観測は、自然現象における数量的法則性の探求、実験や観測による確証といった近代科学の方法を最初に提示したものとみなされている。とはいえ科学者とよぶ人々が登場するのは、物理学や化学、生物学といった個別科学が成立し、大学において理学部が設置された 19 世紀に入った、科学の制度化と総称される時代である。

この制度化の中で「科学者」という社会的な存在、英語の"scientist"という語は 1840 年頃造られた。その意味で 17 世紀に活躍したガリレオを「科学者」と呼ぶのは時代錯誤である。しかしガリレオは哲学者とは異なる形態の知識を求める、新しい知識人の登場を示すもので、のちの「科学者」の登場の先駆として捉えられないか。

ガリレオの活動を望遠鏡による天体観測を中心に「科学者」という新しい知識人の登場という観点から、ガリレオの望遠鏡の製作、天文観測、それにもとづく研究成果の先取権、パトロン獲得等について検討した。

6. 参加人数：15 名

講演者等：3 名

その他の参加者：12 名

7. 特記事項：

なし